

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム  
第5回国際シンポジウム “Revitalization Strategies after Radiation Disaster”  
を開催しました

平成28年2月13日、14日に、国内外の研究者、学生、産業界等から延べ160名の参加者を迎え広島大学学士会館（東広島キャンパス）にて国際シンポジウムを開催しました。1日目はプログラム所属大学院生による研究成果発表とポスター発表を行い、各分野の研究者や専門家から指導助言を受け、審査の結果3名の学生が優秀ポスター賞を受賞しました。

2日目は講師として、中西智子教授(東京大学大学院農学生命科学研究科)、早野龍五教授(東京大学大学院理学系研究科)、Thomas G. Hinton 教授(福島大学環境放射能研究所)、角田 敦彦氏(日本赤十字国際人道研究センター)、広瀬幸雄教授(関西大学社会安全学部)、海外から Dr. Ahmed Meghzifene (Division of Human Health, IAEA)、Mr. Christopher Clement (ICRP Scientific Secretary)をお招きし、多岐にわたるテーマについて講演いただくとともに、参加者と活発なディスカッションを行いました。また、パネルディスカッションでは講演者及びパネリストと参加者が今後の復興について議論を展開しました。

